

## 事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	042(769)9222
担当部課名	保健福祉部	地域福祉	課	民生 班
事務事業名	ねたきり高齢者等おむつ経費		事業コード	11110

## 1 総合計画における位置づけ

政策名	第1章	安心して生活できる福祉社会をつくります	事業開始年度
基本施策名	第2節	いきいきとした高齢社会の創造	~63
施策名	第2施策	地域ケアサービスの充実	年度

## 2 実施根拠及び関連法令等

市ねたきり高齢者等紙おむつ支給事業実施要綱

## 3 事業概要

(1) 事業の目的		(2) 対象(誰、何)	
低所得世帯の在宅ねたきり高齢者、心身障害者等の病苦及び介護者の労苦を軽減するため、紙おむつの支給を行う。		低所得世帯で60歳以上のねたきり高齢者、在宅の心身障害者児等	
		対象数	570人
(3) 平成13年度事業の内容		(4) 総合計画・実施計画における概要	
大人用フラット 76,800枚 大人用オープンパンツ 57,020枚 大人用リハビリパンツ 50,950枚 中人用フラット 3,100枚 子供用オープンパンツ 17,400枚 尿取りパッド 72,000枚 計 277,270枚 2か月に1回支給 1人平均 486.4枚/年 1枚あたり 74円、1日 1.3枚  配送は業者に委託 委託料 20,531千円 申請窓口は在宅介護支援センター又は総合相談窓口		地域ケアサービスの充実  (5) 個別計画の概要 計画名 計画年次 年度~ 年度	

## 4 評価指標

指標名	紙おむつ充足率	おむつ単価の圧縮率
指標式	1日あたり平均的支給枚数/平均使用枚数×100	1-平成13年度単価(今年度単価)/前年度単価
指標設定の意図	平均的使用者の紙おむつ充足度を測る	効果的な宅配一括発注により単価を圧縮する。

## 5 目標と実績

〔金額単位：千円〕

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度	
	実績	実績	実績	目標	目標	
指標	33	32	a 32	b 35	40	
指標	3	3	c 3	d 4	4	
指標	0	0	e 0	f 0	0	
事業費	決算(予算)額	24,664	22,483	20,531	21,000	20,000
	人員・時間数	2人	1人	1人	1人	1人
	人件費	747	373	373	373	373
	その他経費	0	0	0	0	0
	合計	25,411	22,856	20,904	21,373	20,373
特定財源	0	0	0	0	0	

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか							
評価	A:達成している (100%)	= 、 、 の平均値 = 83.2%					
B ▼	B:一部達成していない(100%> 80%)						
	C:達成していない (80%> )						
a	32.0	$\times 100 = 91.4\%$	c	3.0	$\times 100 = 75.0\%$	e	$\times 100 =$
b	35.0		d	4.0		f	
理由:	単純に支給枚数を増やせば充足率が上昇すると思われるが、予算上の制約から現状で精一杯である。						
(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か							
評価	A:適応している	理由:	在宅で介護する家庭が今後さらに増えてくる。				
A ▼	B:一部適応していない						
	C:適応していない						
(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か							
評価	A:妥当である	理由:	地区の在宅介護支援センターでの申請が可能になり、申請者、サービス提供者ともに効率性が上昇した。				
A ▼	B:一部妥当でない						
	C:妥当でない						
(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か							
評価	A:代替の可能性ない	理由:	地区社協等でも同様の事業を行っているところがあり、事務の委託をすることも可能ではある。				
C ▼	B:代替の可能性低い						
	C:代替の可能性高い						
(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか							
評価	A:満足できる	理由:	紙おむつの支給は不足分の補充の意味合いが強いが、支給対象者の家計状況によっては満足できる状況ではない。				
B ▼	B:一部満足できない						
	C:満足できない						
(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か							
評価	A:有効である	理由:	施設に頼らず、地域、家庭で高齢者の介護を行う社会を目指すために必要な事業である。				
A ▼	B:一部有効である						
	C:有効でない						

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <p><input type="checkbox"/> ある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ない</p> <p>説明: ほぼ需要が満たされている</p>
	<p>コスト改善余地</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ある</p> <p><input type="checkbox"/> ない</p> <p>説明: 支給対象者のニーズを充足させるため、宅配方式以外の方法(金券を発行し地域の商店で紙おむつと引き換える)も考えられる。</p>

7 総合評価

評価	A ▼	他自治体の類似事業との比較	宅配、金券など支給方法の違いはあるが、ほとんどの市町村で同様の事業を展開している。
今後の進め方			
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	説明	申請時に在宅介護支援センターの職員と面談を行うことで、ねたきり高齢者を把握することができ、民生委員への情報開示で地域における見守り体制が構築できる。
<input type="checkbox"/>	見直し		
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input type="checkbox"/>	完了		

8 二次評価における変更点

--